

4. Safety Answer の活用例、利用分野（3）

匿名の相談窓口として

Safety Answer を利用すると、ホームページなどを制作することなく簡単に匿名のメール相談窓口を開設できます。相談窓口アドレスからのメール転送先は自由に設定できるので、転送先を相談に対応する専門家の個人アドレスなどにすれば、わざわざ事務所へ集まって業務を実施する必要も無くなります。専門家を拘束する時間も短くなり、業務運用に掛かるコストの見直しも可能になります。相談を受ける側も、時間による拘束が少なくなったことで、同時に複数の業務をこなすなど業務効率化につながります。

また、**Safety Answer** の選択は、複数の業務を一つのメールアドレスでこなすことを可能にします。わざわざ別のメールアドレスを用意して業務を分けること無く、一つのメールアドレスで全ての相談への対応が可能です。

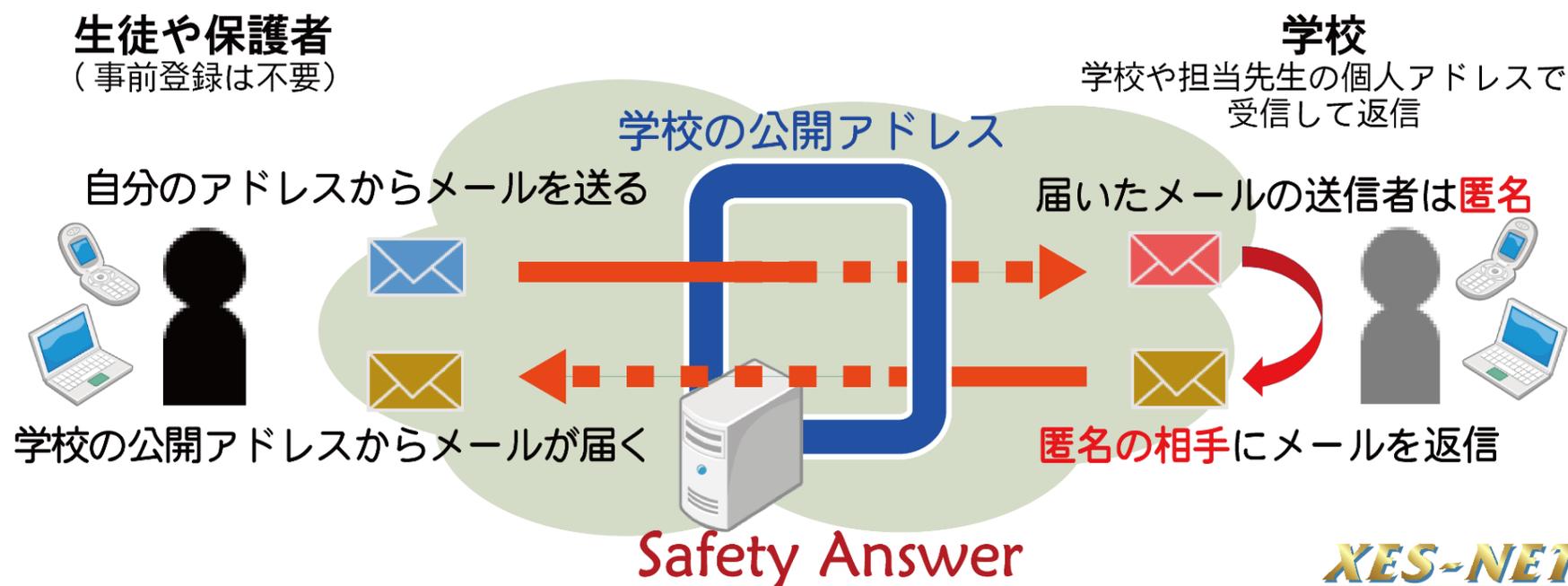


4. Safety Answer の活用例、利用分野（5）

学校教育の場での利用

Safety Answer は、いじめ問題などに代表される学校教育の課題への対応策として、匿名の双方向相談窓口を手軽に提供します。問題把握のために実施するアンケート調査などでは、生徒や保護者からの一方向の情報収集しかできませんが、**Safety Answer** を利用すると、メールだけを利用して双方向のアンケート調査や個別の匿名相談が可能になります。

Safety Answer の選択は、学校側が生徒・保護者へ向けて、個人情報収集せずに重要な連絡を取り合うことができる連絡手段を開設することになり、生徒・保護者向けに利用価値の高いホットラインを設けることができます。



4. Safety Answer の活用例、利用分野（6）

学校PTAでの利用

PTAの役員になると多くの保護者と連絡を取る必要から、自分のプライベートなメールアドレスを公開することを余儀なくされます。そして、子どもが卒業して学校と縁が薄くなってもメールが途絶えることが無く、せつかく子どもの名前で取得した大切なメールアドレスを変更することになってしまいます。

そんな時に、**Safety Answer** でメールアドレスを取得してPTAの公開アドレスとして利用することで、個人のメールアドレスを隠したまま、保護者からのメールを受信して返信することができるようになります。

さらに、受信アドレスを非通知と設定することで、PTAへ連絡をしてくる保護者のアドレスも匿名化できるので、PTA役員、保護者の双方が自身のメールアドレスを隠して連絡が取り合うことが可能です。

